

スポ推よこすか

Vol. 17

平成24年
12月1日発行



発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

Cブロックは全試合フルセットの熱戦！

成人女子選手による大会「第52回学区対抗成人バレーボール大会」が9月2日（日曜日）横須賀アリーナ（メイン・サブ）で開催されました。

参加申し込み28学区、当日欠場2学区の26チームによる5ブロックのリーグ戦が行われました。優勝はAブロック・馬堀学区、Bブロック・小原台学区、Cブロック・富士見学区、Dブロック・桜学区、Eブロック・森崎学区がそれぞれ栄誉をうけ、賞状・楯・賞品を獲得しました。試合はブロック毎、対戦毎に息詰まる熱戦が有ったり、一方的な試合も有ったりしたものの、皆さんの一生懸命なプレイとマナーの良い応援風景には今更ながらスポーツの良さを感じた次第です。

特にCブロックの5チームによるリーグ戦は4試合とも全てフルセットとなり、大会終了時間が、すでに終了した4ブロックと1時間以上の差がついて終了の熱戦となりました。

大会参加の選手は勿論、ママさんバレーボール連盟の審判団の皆さん、そしてコート汗拭きモップなどにお手伝い頂いたスポーツ推進委員の皆さん、お疲れ様でした。



多数の参加者での開会式



吉田市長へ選手宣誓



ママさんパワー炸裂!!!



スポ推委員も活躍！



おめでとうございます

記事・写真 広報部副部長 押井 秀夫（鷹取）

藤沢市・横須賀市交流研修会

平成24年9月9日に横須賀サブアリーナにて、藤沢市・横須賀市スポーツ推進委員交流研修会が行われました。『横須賀市インディアカ協会』と『横須賀市バウンドテニス協会』ご指導のもと、半分ずつチームに分かれ、それぞれの種目の実技研修を受けました。インディアカは、私がスポーツ推進委員になって、初めて体験したニュースポーツです。4人1チームで、羽根の付いた専用ボール「インディアカ」を素手で打ち合うバレーボール形式のスポーツで、ケガも少なく、女性や子供も参加しやすい競技です。久しぶりに行ったので、慣れるまでは思った方に飛んでくれず、てこずってしまいました。慣れてくるとチームワークも取れ、皆テンションが上がってきました。バウンドテニスは、小さいコートで短いラケットを用いて行われる、テニスに良く似たスポーツです。私は初めてだったので、ラケットにボールが当たり、協会の先生のところへ無事戻ってくれるだけで喜んでしまいました。どちらも見ていだけではなく、実際にやってみるのが1番。気楽に楽しめて、盛り上がるスポーツではないでしょうか？

楽しい時間はあっという間に過ぎ、その後、場所をオールシーズンに移動して、懇親会が行われました。立食パーティ形式で、初めての方とも仲良く話が弾み、情報交換もできたようです。横須賀名物の海軍カレーもありました。最後は、いつもの石川副会長の三本締め。名残惜しくバスまでお見送りして終了でした。半日はあっという間でしたが、密度のある濃い交流会だったと感じました。

広報部 副部長 金森 由香里（追浜）



新体力テスト測定員講習会

9月17日に不入斗公園にて、30人余りのスポーツ推進委員（以下、スポ推という）が参加して、新体力テスト測定員講習会が開催された。スポーツ課の前島指導主事から測定の意義・測定種目について、DVDを用いて説明を受けた後、サブアリーナに移動して実技講習となった。実施された測定種目は、握力・長座体前屈・立ち幅とび・ボール投げ・50m走・反復横とびだった。参加したスポ推は、5グループに分けられ、一人のスポ推が講師を担当し、他は受講者となり、講師担当のスポ推が測定方法・進め方・注意点を説明・指導し、測定種目を体験した。スポ推自らが指導者・受講者となることにより、理解を深められる講習会となった。



前島指導主事の説明



伊藤課長からもご指導いただきました

記事・写真 新城 邦明（富士見）

よこすか みんなでスポーツ! スポーツフェスタ 2012!

10月8日(体育の日)

北体育会館、不入斗公園、横須賀スタジアム、浦賀ポートパーク、南体育会館、くいはま花の国、明浜小学校グラウンド、西体育会館、佐島の丘温水プール



今年も9会場で、よこすかスポーツフェスタが開催されました。天候にも恵まれ、普段なかなか体験できないスポーツなどにも触れ、大いに盛り上がりました。

横須賀サブアリーナにて

サブアリーナ会場では、①長座体前屈②立ち幅とび③上体起こし④握力⑤反復横とび⑥20mシャトルランの6種目の新体力テストが行われた。

開始直後より、若い家族連れを中心に参加希望者が集まりだし、11時近くには何処のテスト種目も盛況を呈して来た。毎年参加している青少年達や定年前後のオジサンも笑顔で汗を流していた。

シャトルランは、10人ずつのスタートのため、まとまった人数が一度にできるが、今年も相変わらず11時30分の午前の部受付終了時においても参加者が減らず、12時時点で残留参加者10人は午後優先(予約)として午後組に回ってもらった。盛況はいいのだが、前回より少ないスポーツ推進委員での一部の会場運営は、その活動に余裕が無かったが、林副会長や他の方々の遊撃隊的助人努力があり、大した混乱も無く進行していった。

一方、素足での参加は、体育館のワックスを塗布した床をその汗で傷める可能性があることや、参加者自身が捻挫する危険がある事から禁止されていたが、徹底を欠いたため、一部に見受けられた。反面、外履きの痕跡がマット上にあり次回からは素足禁止・上履き使用の周知徹底が必要である。



持久走テストのシャトルランは、特に50回でも大変なのに、100回以上の距離は2kmを超え、全速力に近い走りでもあるため、達成者は賞賛的となった。走り終え、額から汗が滴り、息遣いのおさまらないうちに自然に起こる一斉の拍手、感動そのものでした。

記事

臼井 喜八郎 (森崎)

写真

石川 輝雄 副会長 (森崎)



カローリング体験(北体育会館)

さわやかウォーキング研修会

皆さんはスポーツ推進委員と言う肩書きに限らず、普段から体を動かしていますか？朝のラジオ体操なども良いでしょうし、地域活動の中で様々なスポーツにも携わっていることでしょう。

そんな中、11月11日に平成24年度「さわやかウォーキング研修会」を開きました。これは、各学区でウォーキングを企画する時の雛形作りと、併せて協議会会員（参加者）間の親睦を図るイベントです。昨年第1回が予定されていましたが、悪天候だった為、今年に持ち越されました。ウォーキングと一言で言っても、ただ歩くのではなく、景色を楽しんだり、参加者同士の会話を楽しんだり、その街の歴史にふれてみたりと楽しみ方も様々あります。

今回は、馬掘海岸2丁目第二公園に集合し、海岸通りから防衛大学校を經由し、横須賀美術館までのウォーキング研修でした。大人の足でもゆっくりのペースで約2時間の行程。途中は小休憩を何度か挟みながらなので、どんな方にも無理なく歩けます。



走水小学校辺りから防衛大学校方面へ坂を登り、観音崎公園で林副会長からのウォーキングに関する講義を受け、砲台跡の残る坂を下りて行くと、横須賀美術館です。当日は雲行きが怪しかったので早めのゴールを目指し、15時過ぎのゴールとなりました。



林副会長によるウォーキングの基本講義

観音崎公園からの
東京湾の眺め



砲台跡



当日配られた
手作り絵のマップ



自分のペースで気持ち良く、無理のない距離で楽しむ「ウォーキング」は、皆さんの生活の中に新しい発見を見つける良い手段かも知れません。お弁当を持っていったり、途中の公園などで遊べる運動遊具持参で行くのも良いのでは。もちろん地域交流のイベントとして大々的に催す事も有意義でしょう。

記事・写真 広報部部长 原 晓彦（長浦）

編集後記

年内も色々な事業がありました。スポーツ推進委員の方々も大変お疲れ様でした。市のイベントや地域活動も大事ですが、ご自身の健康管理が何よりです。師走は何かと忙しい日々が続きます。どうぞご自愛下さい。 広報部部长 原 晓彦

横須賀市スポーツ推進委員協議会ホームページ

<http://sukataishi.jp>

常時更新しております。是非アクセスして下さい。